

化学繊維製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	4~5	夜勤の休憩時間、駐車場より戻ろうとした際、前日より路面が凍結していたが、放射冷却により更に凍結し、滑り易い状態となっていた。また、照明があるものの夜間で暗く、凍結状況の確認が困難等の条件が重なった為、足を滑らせ、仰向けに転倒し、右後頭部を凍結路面に強打し、クモ膜下出血を負った。	54	719	2	100 ~ 299
2017	2	14~15	樹脂用難燃剤製造工程の1階にてストレーナーの清掃作業を実施した後、ストレーナーの蓋を閉めるため締め込みハンドルの中に空のパイプを差し込み自分方向に力を加えたところパイプが突然抜け、後方に尻もちをついた。	54	364	19	500 ~ 999
2017	3	17~18	8インチコアの磨き作業のため製品を機械にセットする際、テールセンターと製品の間で右手親指が挟まり、親指端先を切断した。テールセンターは油圧動作で前進し製品をセットするもので、その際に製品とセンターがずれていたため右手で持ち上げてセットしようとしたところ、誤って親指を挟んでしまった。	25	169	8	100 ~ 299
2017	5	11~12	浄化センター構内に入った上り坂を、自転車を押して上り切った際に平坦な路面でバランスを崩し、自転車ごと転倒し、路面で右後頭部を打った。	57	239	2	100 ~ 299
2017	6	18~	職場でプラスチックコアをNC研磨機5号機にセット後、表面の塗装面にできた突起部を、運転しながらペーパーで削ろうとしたところ	29	169	7	100 ~

		19	手が滑り、回転していた砥石と製品に右手親指を挟まれ削ってしまった。					299
2017	6	15~ 16	工場内にてタフト機の操作作業をしていた。タフト機のフィードロール部の不具合を直そうとしたところ、右手を巻き込まれ、すぐに左手でスイッチを切ったが、右手を負傷した。	26	163	7	1~ 9	
2017	7	13~14	被災者は、サンプル採取のために、開いた窓に近づいた。左足に体重を掛けた際左足が滑り窓枠に左脇腹を強打し被災した。	51	419	3	100 ~ 299	
2017	7	10~ 11	製品グループ作業場で、返品されたフィルム残紙が残った鉄芯のフィルムを、架台上でカッターナイフを使用して切っていたとき、誤って左手親指の付け根を切創し、腱を損傷した。	40	379	8	300 ~ 499	
2017	9	3~4	調節操作を行う為、現地に向けて屋外を歩行中、80℃の熱水が流れるダクト（幅500mm×深さ600mm、水深200mm）の鉄板渡り板から、右横800mmを並行するケーブルダクト上へ上がろうとした。頭上は仮設足場により照明が遮られ、又、懐中電灯を持っていたが点灯していなかったため暗く、ダクト開口部が黒塗りの鉄板に見えたため、そのまま進み熱水ダクトへ足から転落し、足首を火傷した。	21	715	11	500 ~ 999	

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html